

特集

節電に「ご協力ください」

今夏も原子力発電所の停止により、全国的に電力需給が厳しい状況となっております。

政府は東京電力管内の電力供給予備率4.5%と予測していますが、異常な猛暑や発電所等のトラブルにより電力需給の逼迫という状況も想定されることから「節電」に努める必要があります。

また、節電は、二酸化炭素の削減が図れるなど地球温暖化の防止にもつながります。節電をとおして、日頃の生活習慣を見直しましょう。家庭・事業者とも、体調管理に気をつけ、節電へのご協力をお願いします。



■家庭での節電のポイント

●ごまめにスイッチオフ

テレビやパソコン、照明、冷房などを使わないときは電源をオフに。また、長時間使わないときは、プラグをコンセントから抜きましょう。

●冷蔵庫の開閉は少なく、開けている時間は短く

開閉が多いと、庫内の冷気が逃げてしまいます。庫内を再び冷やすために消費電力量が多くなるので、開閉は少なく、開けている時間はできるだけ短くしましょう。また、設定温度は「強」から「中」にしましょう。

●冷蔵庫にものを詰めすぎない

詰め込みすぎると冷気の流れが悪くなり、効率よく冷やせません。常温で保存できるものは冷蔵庫から出すなど、冷蔵庫の中を整理しましょう。



●テレビの画面は明るすぎないようにしよう

液晶テレビやプラズマテレビは、画面モードを省エネモードにしましょう。また、音量は必要以上に大きくしないようにしましょう。

●炊飯器での保温や電気ポットの使用を控える

ごはんは炊飯器での保温より、電子レンジで温めましょう。電気ポットは使用を控えましょう。

●洗濯はまとめて行う

洗濯はお風呂の残り湯を利用して、まとめて洗いで洗濯の回数を減らしましょう。また、乾燥機の使用はできるだけ控えましょう。

《エコクッキングで省エネ》

●水滴を拭いてから火にかけましょう

水滴がついたまま火にかけると、残った水滴を蒸発させるために余分なエネルギーがかかってしまいます。

●炎がはみださない火加減で調理しましょう

炎は鍋底からはみ出さない程度が最も効率的。強火ではみ出した部分の熱は鍋に伝わらず、弱火すぎても時間がかかり、放熱する量が多くなってしまう。

●鍋にはふたをしましょう

ふたをすると鍋に伝わる炎の熱を有効に利用することができます。鍋にふたをすれば時間もエネルギーも節約できます。

●下ごしらえを工夫しましょう

野菜の次に肉や魚を切ったり、上手に鍋や調理道具を使い回すことが大切です。また、野菜を煮るなどの下ごしらえは一度にまとめて行いましょう。少量の場合は、電子レンジで行うのも便利です。

(参考：「みんなが節電アクション」)

■節電の基礎知識

○どんな電気製品をつかっているの？

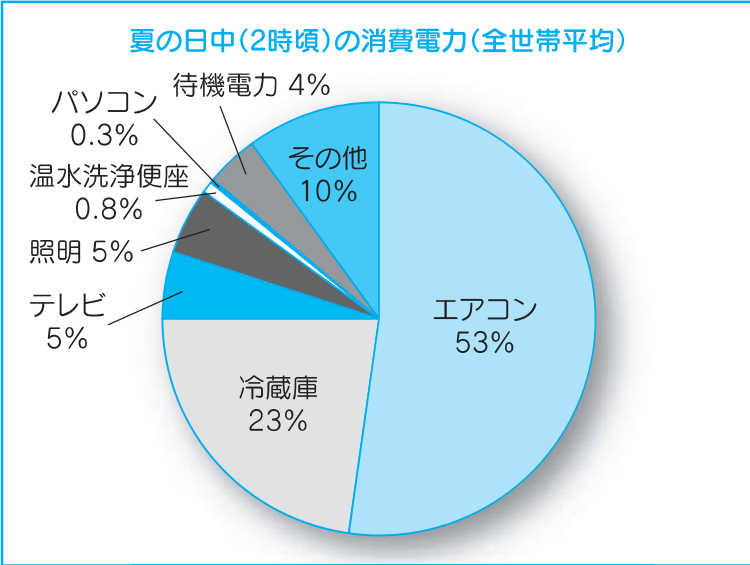
夏の日中(2時頃)には、在宅世帯では平均で約1,200Wの電力を消費しており、そのうちエアコンが約半分を占めています。

外出中の世帯でも、冷蔵庫、温水洗浄便座、待機電力などにより、平均で約340Wの電力を消費しています。

○主な電気製品の消費電力について

家庭には、1,000Wを上回る電気製品がたくさんあります。

消費電力の大きい電気製品は、できるだけ平日の午前9時〜午後8時を避けて使しましょう。



電気製品の定格消費電力 トップ5

- ①IHクッキングヒーター(3口)
 - ②電子レンジ
 - ③アイロン
 - ④シャワー炊飯器
 - ⑤浴室乾燥機
- その他に、電気ポット、食器洗い乾燥機、オーブントースター、掃除機、ドライヤー、温水洗浄便座など(出典:資源エネルギー庁調べ)

▼問い合わせ先

住民生活課
生活環境係

☎(56) 9131

グリーンカーテン設置しました

地球温暖化防止対策 電力不足の節電対策の一環として、朝顔のグリーンカーテン(緑のカーテン)を役員庁舎南側に設置しました。

グリーンカーテンとは？

窓全体に張り巡らせたネットに、朝顔やゴーヤなどのツル植物を絡ませて窓を覆うもの。窓からの日差しをさえぎり、室内温度の上昇を抑制するとともに、植物の蒸散作用によって周囲を冷やすことが期待できます。

どんな効果が？

室内の温度が下がるとエアコンの使用も控えるようになるため省エネにもつながり、植物が育っていく過程を観察できたり、ゴーヤやきゅうりなどの収穫も楽しめます。

◎朝顔の種をさしあげます

昨年とれた種が寄付されましたので、役場正面玄関の窓口総合案内にて希望者に無料でさしあげています(数に限りがあります)。また、今年のグリーンカーテンの朝顔からとれた種もさしあげる予定です。詳細は決まり次第広報等でお知らせします。

▼問い合わせ先

住民生活課 生活環境係

☎(56) 9131

